

3D 超音波検査を利用した胎児顔面形態の標準化に関する検討

1. 研究の対象

2017年1月1日～2020年3月31日の間に山梨県立中央病院産科にて胎児スクリーニング外来を受診された妊婦

2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究機関の長の許可日～2021年3月31日

先天奇形症候群の発見は経験のある医師による顔面形態の微妙な特徴の抽出に基づいて行われる場合が多い。小児では顔面形態を客観的に評価するための landmark に基づく計測値が存在し、顔面形態異常の診断に利用されているが胎児診断への応用はなされていない。近年の超音波検査の進歩に伴い 3D volume data から構築した胎児顔面の画像精度は著しく向上し顔面形態の特徴を詳細に解析できる情報となり得る。本研究は当院で出生した児の妊娠中に行われた 3D 超音波検査画像から得られるデータを用いて後方視的に胎児顔面構造の標準化に必要な計測を行う。

3. 研究に用いる情報の種類

- ① 母体基本情報；妊娠方法、分娩週数
- ② 出生児情報；体重、身長、頭囲、胸囲、性別、先天奇形症候群の有無
- ③ 超音波検査データ；妊娠 23 週 0 日から妊娠 28 週 6 日までに記録された胎児顔面 3D 画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 研究責任者：産科 須波 玲

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）

-----以上